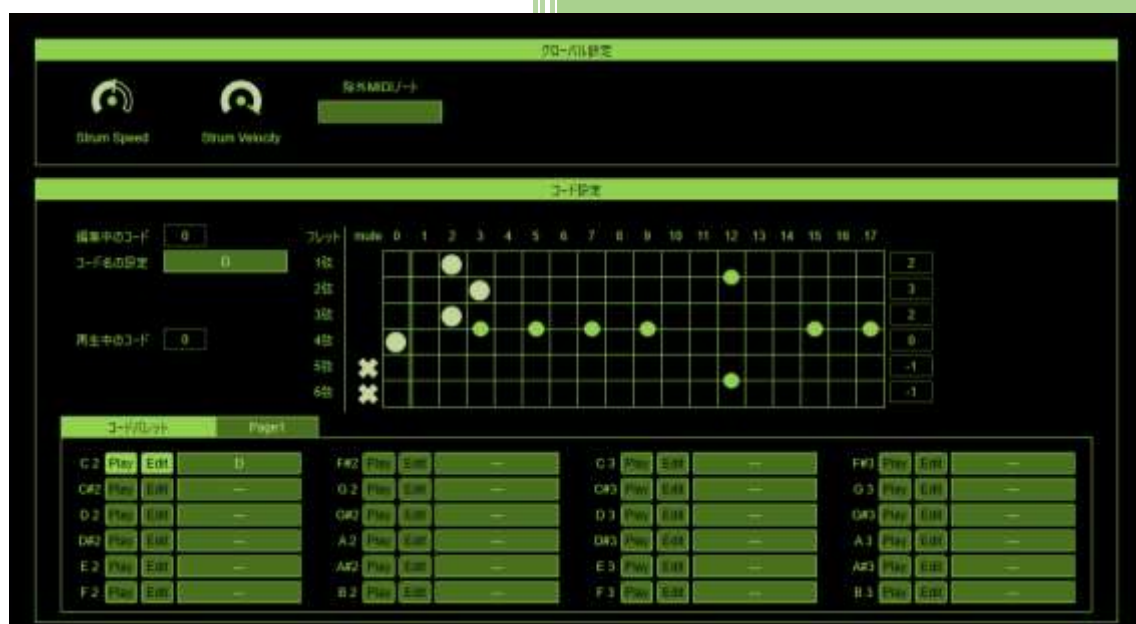


Utsbox MIDI Tool2 マニュアル



Version 1.0

うつぼかずら

2020 年 6 月 28 日

1 目次

2	概要	2
3	パッケージ内容と動作環境	2
3.1	パッケージ内容	2
3.2	動作環境	2
4	Utsbox MIDI Tool2 の使用方法	3
4.1	インストール・アンインストール	3
4.1.1	インストール方法	3
4.1.2	アンインストール方法	3
4.2	プラグインの読込と初期設定	3
4.3	基本的な使用方法	6
4.4	操作画面とキースイッチ	10
4.4.1	操作画面（グローバル設定）	11
4.4.2	操作画面（コード設定）	13
4.4.3	キースイッチ	16
5	その他	18
5.1	免責事項	18
5.2	著作権について	19
5.3	連絡先	19
6	更新履歴	19

2 概要

Utsbox MIDI Tool2 はギターのコードストロークを生成するギター音色用の MIDI エフェクト VST プラグインになります。



VST はヨーロッパおよびその他の国で登録された Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH, registered in Europe and other countries.

3 パッケージ内容と動作環境

3.1 パッケージ内容

Utsbox MIDI Tool2 の解凍したフォルダには下記フォルダ・ファイルが作成されます。

インストール方法については、「インストール・アンインストール」に記載しています。

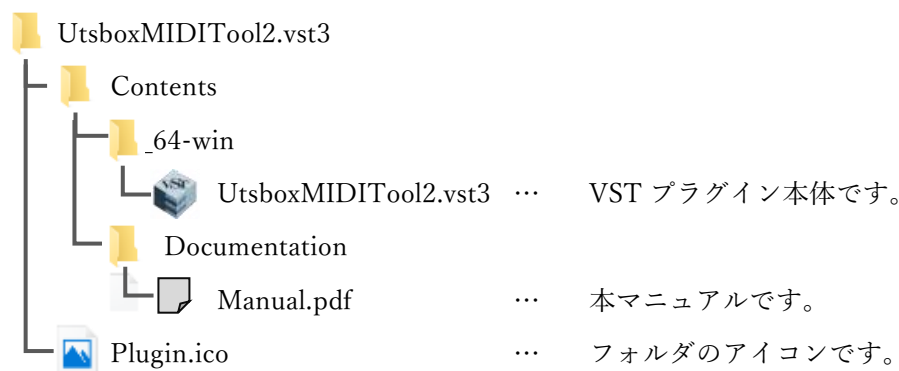


図 1 パッケージ内容

3.2 動作環境

本ソフトウェアは下記の環境で動作いたします。

表 1 動作環境

対応 OS	Windows 10 64bit
対応アプリケーション	<p>VST3.6 の規格に対応したアプリケーション※</p> <p>※MIDI のルーティングにより、他の VST プラグインに MIDI メッセージを転送できる必要があります。</p>

4 Utsbox MIDI Tool2 の使用方法

4.1 インストール・アンインストール

4.1.1 インストール方法

ダウンロードした ZIP ファイルを解凍後、UtsboxMIDITool2.vst3 フォルダごと VST3 用フォルダ(下記)へ移動してください。VST3 用フォルダがない場合は作成してください。

ファイル移動(コピー)先	…	C:\Program Files\Common Files\VST3
--------------	---	------------------------------------

4.1.2 アンインストール方法

UtsboxMIDITool2.vst3 フォルダを削除してください。

レジストリ等は使用しておりませんので、Windows のシステム上に不要な情報を残すことはありません。

4.2 プラグインの読込と初期設定

ご利用のアプリケーション(DAW など)から、本 VST プラグインを読み込んで、下記の設定を行ってください。

【VST プラグインの読込と初期設定】

1. 本 VST プラグインをアプリケーションに読み込んでください。
2. 音源となる他の VST プラグインをアプリケーションに読み込んでください。
3. MIDI 入力下記の流れになるよう、アプリケーションの MIDI をルーティングしてください。

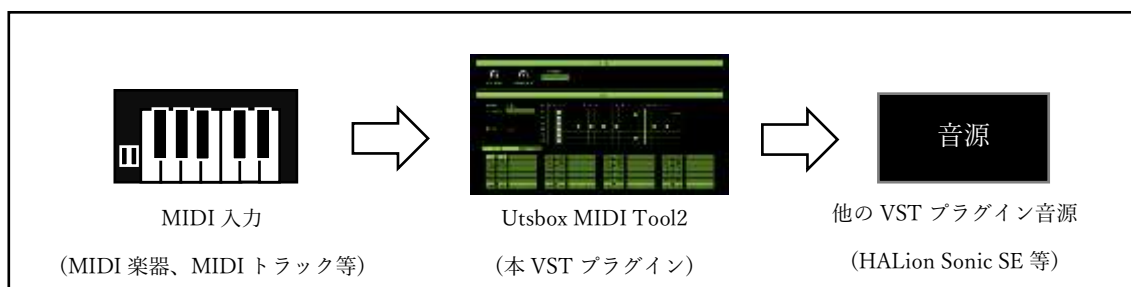


図 2 MIDI のルーティング

ここでは参考として Cubase 9.5 での読込と初期設定方法を説明します。なお、Cubase 9.5 のより詳細な操作方法については、Cubase 9.5 のマニュアル等をご参照ください。

まず、本 VST プラグインを Cubase 9.5 に読み込みます。(メディアベイからのドラッグ&ドロップや、右クリックでの「インストールメントトラックを追加」で読み込みます。)

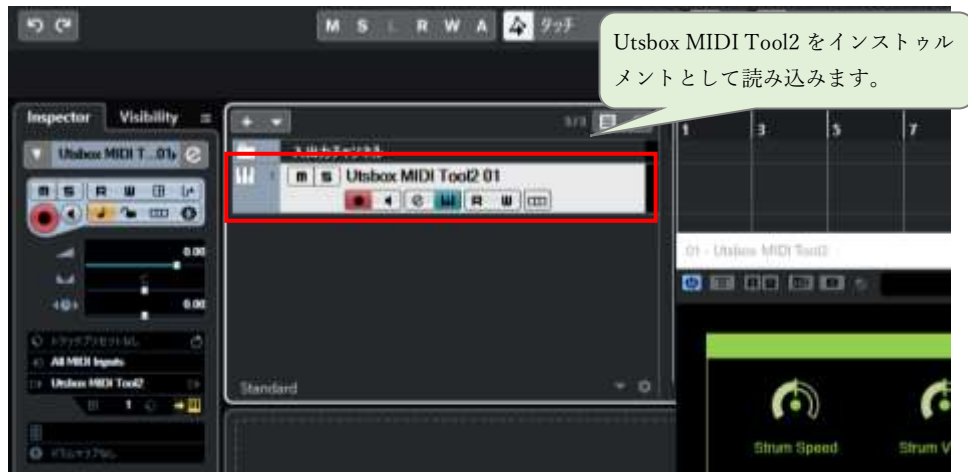


図 3 Utsbox MIDI Tool2 の読込

次にギターストロークをさせる音源を Cubase 9.5 に読み込みます。ここでは、例として Cubase 9.5 に付属している HALion Sonic SE を読み込んでいます。



図 4 音源の読込

音源側のトラック(ここでは HALion Sonic SE 側)の「Inspector」で MIDI 入力を選んで音源側の MIDI 入力を「Utsbox MIDI Tool2」の出力「EventOutput 1」に設定します。



図 5 音源の MIDI 入力の変更

そして、音源側の「モニタリング」を有効にします。Cubase 9.5 で MIDI 入力を変更した場合、モニタリングを有効にしないと音が鳴らないためです。



図 6 音源のモニタリングの有効化

最後に必要に応じて音源側の音色を設定します。例として読み込んだ HALion Sonic SE のチャンネル 1 に音色を設定します。(Utsbox MIDI Tool2 は MIDI チャンネル 1 に出力します。)

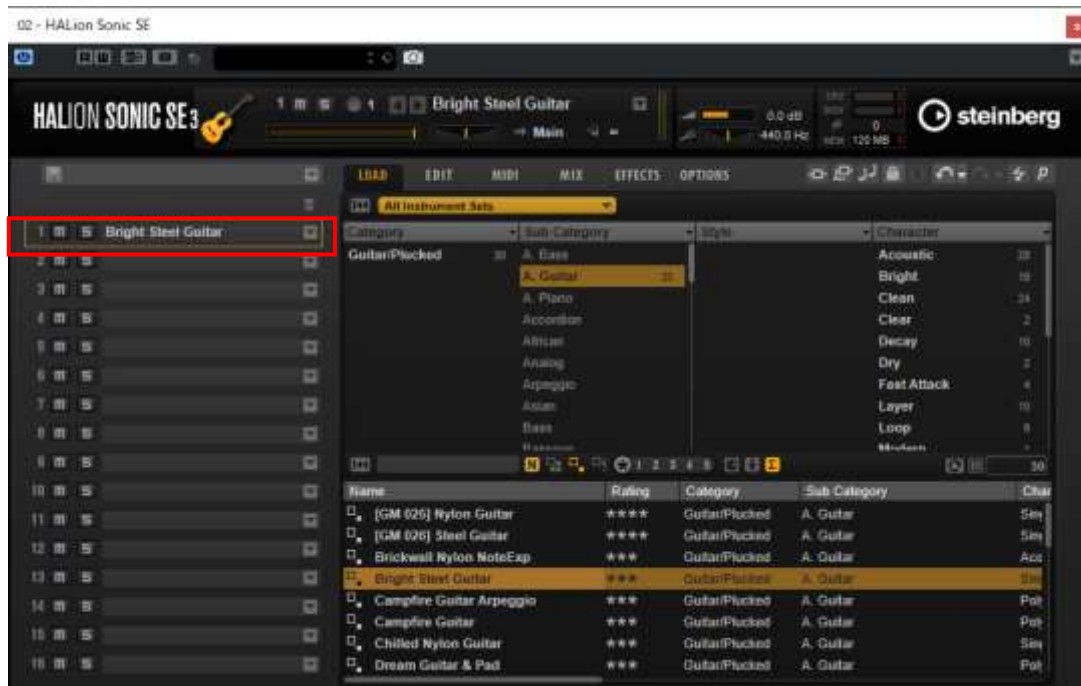


図 7 音源の音色の設定

4.3 基本的な使用方法

ここでは本プラグインの基本的な使用方法について説明します。操作画面やキースイッチなどの詳細については「操作画面とキースイッチ」の項目に記載しています。

本プラグインの読み込みと初期設定後、大きく下記の手順で使います。

【基本的な使い方】

1. 操作画面で「コードパレット」にコードを登録します。
2. 「ページ切替キー」と「コード切替キー」でコードを選択します。
3. 「キーギターストローク/アルペジオキー」で音源を鳴らします。

参考として Cubase9.5 での使用方法を説明します。

まず、本 VST プラグインの操作画面を開きます。Cubase9.5 では Utsbox MIDI Tool2 のトラックの「インストゥルメントを編集」のボタンを押します。



図 8 Utsbox MIDI Tool2 操作画面を開く

「コード設定部」にギターの「コード」を登録するため、「コードパレット」から C2 の「Edit ボタン」を押します。そして、「ギターフレット部」でギターのコード表などを参考にしながら抑えるフレットを設定します。同様の手順で C#2～B3 まで「コード」が必要な分だけ登録します。

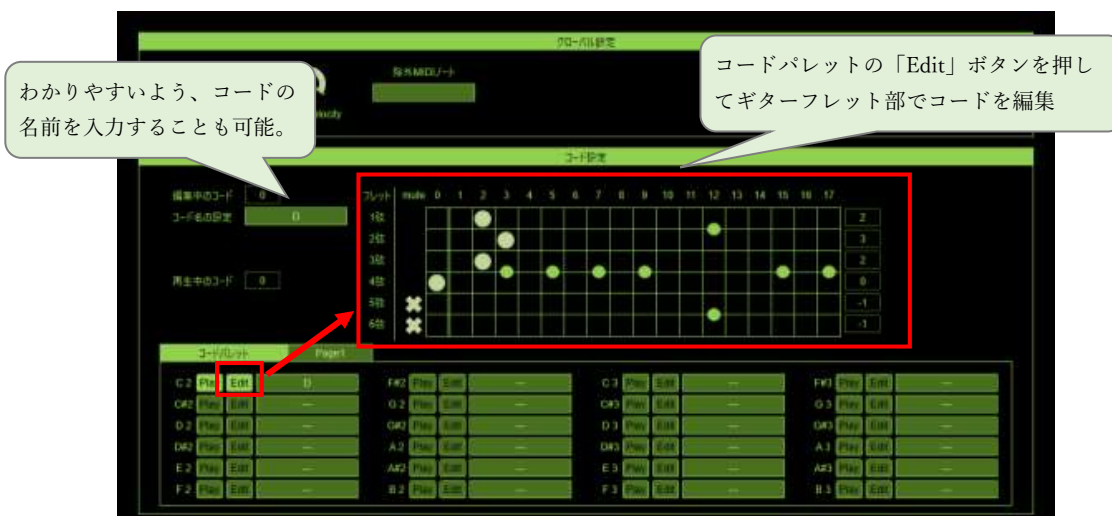


図 9 「コード」の登録

「コード」の登録が終わればギターのストロークを打ち込みます。もちろん MIDI キーボードで演奏することも可能です。

まず、登録した「コード」を選択するためのキースイッチ(コード切替キー)を打ち込みます。下記の例では C3 に登録した「コード」でギターをストロークするため C3 の「コード切替キー」を打ち込んでいます。※

※YAMAHA 社の MIDI ノート表記は「中央のド=C3」となっている点にご注意ください。(本 VST プラグインは「中央のド=C4」で表記しています。)

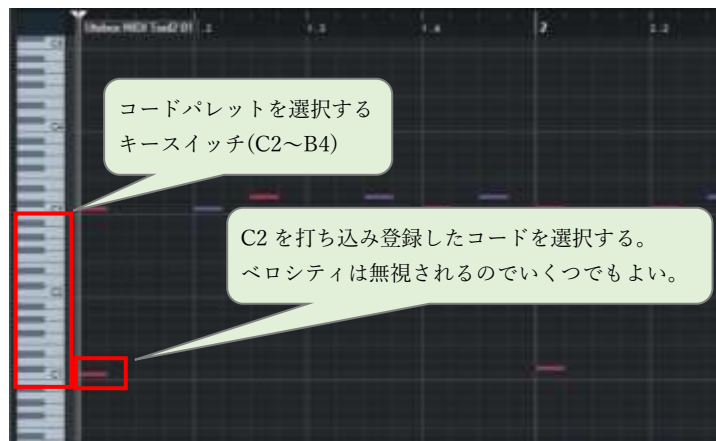


図 10 「コード切替キー」の打ち込み

つぎに、C5~F6 にはギターストロークするためのキースイッチ(ギターストローク/ピッキングキー)が割り当てられているので、これらを使ってギターストロークを作成します。

下記の例では、C5(ダウンストローク)と D5(アップストローク)の「ギターストローク/ピッキングキー」を使用して、基本的な 8 ビートのストロークを打ち込んでいます。

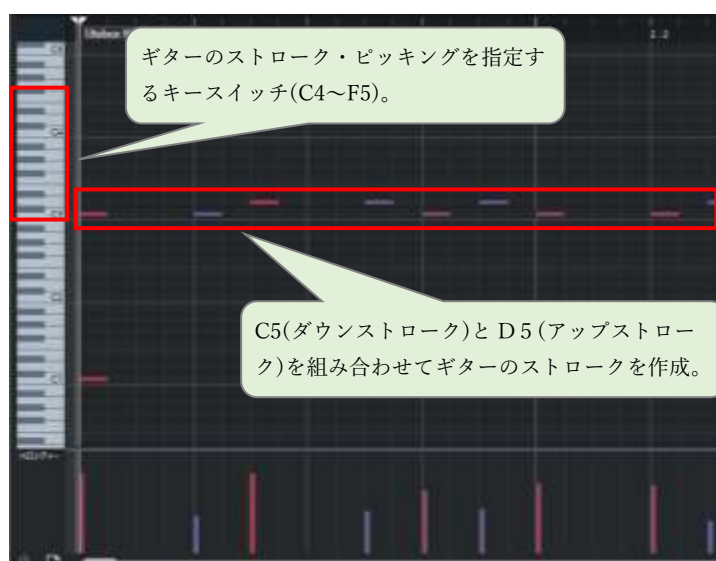


図 11 「ギターストローク/ピッキングキー」の打ち込み

なお、「コード切替キー」が押されると MIDI ノートオフが送信されることに注意してください。ため、「ギターストローク/ピッキングキー」と同じ開始位置で入力すると、ギターストロークが途切れる場合があります。



図 12 「ギターストローク/ピッキングキー」の開始位置

他のストローク・ピッキングについては下記の通りとなります。

表 2 「ギターストローク/ピッキングキー」の割り当て

キー	割り当て動作	キー	割り当て動作
C5	ダウンストローク	A5	3 弦ピッキング
C#5	ダウンストローク (3 弦のみ)	B5	2 弦ピッキング
D5	アップストローク	C6	1 弦ピッキング
D#5	アップストローク (3 弦のみ)	D6	ダウンブラッシング
E5	6 弦ピッキング	E6	アップブラッシング
F5	5 弦ピッキング	F6	全ての音の停止
G5	4 弦ピッキング		

同様の手順で、「コード切替キー」と「ギターストローク/ピッキングキー」を打ち込んでギターストロークを作成します。

4.4 操作画面とキースイッチ

操作画面とキースイッチについて説明します。

まず本 VST プラグインの操作画面は下記の通りとなります。

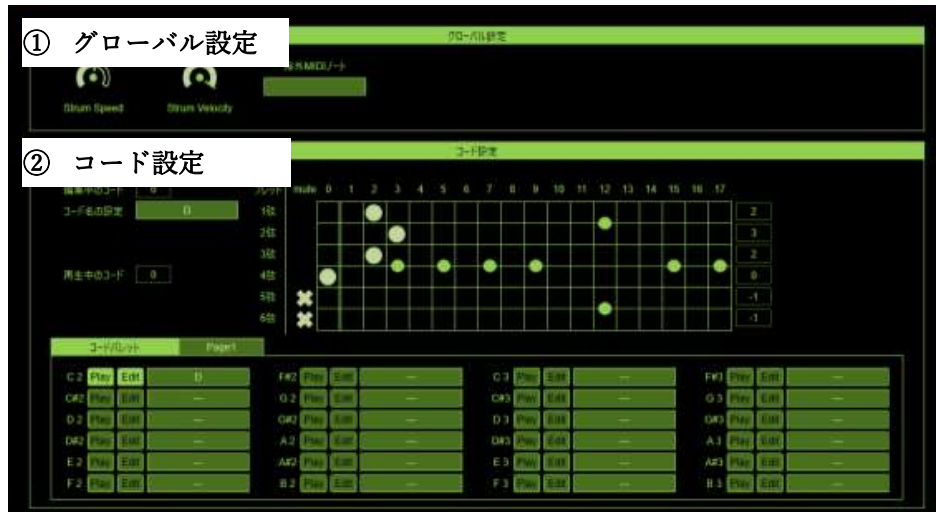


図 13 Utsbox MIDI Tool2 操作画面

表 3 操作画面概要

① グローバル設定	生成するギターストロークの速度やベロシティ、音源側に直接伝えるノートナンバーなどを設定します。
② コード設定	ギターのコードを設定します。4 ページ×24 コード(合計 96 コード)登録することができます。

また、本 VST プラグインは MIDI ノートナンバー G2 ～ F6 に対してキースイッチが割り当てられています。

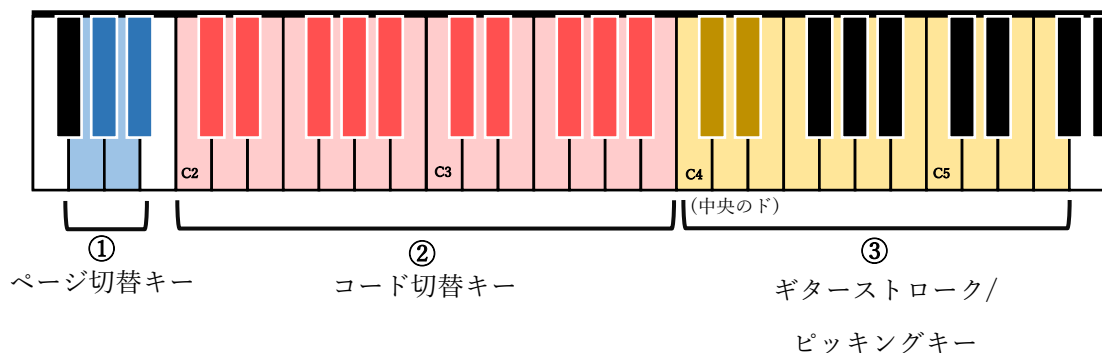


図 14 Utsbox MIDI Tool2 キースイッチ設定

表 4 キースイッチ割り当て概要

① ページ切替キー	コード設定のページを切り替えるキースイッチです。
② コード切替キー	コード設定のコードを切り替えるキースイッチです。
③ ギターストローク /ピッキングキー	指定されたコードに応じてストロークや単弦ピッキングを行うキースイッチです。

4.4.1 操作画面（グローバル設定）

ここでは操作画面上部の「グローバル設定」について説明します。

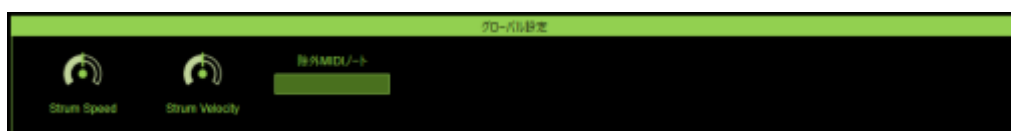


図 15 操作画面 グローバル設定部

4.4.1.1 Strum Speed

「Strum Speed」のつまみ(ノブ)はギターストロークのスピードを設定します。「Strum Speed」の値が小さくなるほどゆっくりストロークし、つまみの値が大きくなるほど早くストロークします。

生成されるギターストロークのスピードは「ギターストローク/ピッキングキー」のベロシティとこの「Strum Speed」で決まります。下記の図がギターストロークのベロシティと「Strum Speed」の関係になります。




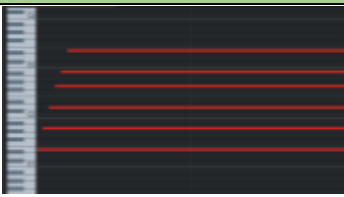


Strum Speed	最小値のとき	最大値のとき
ギター ストロークキー		
ベロシティが 127 のとき		
ベロシティが 10 のとき		

図 16 「ギターストローク/ピッキングキー」のベロシティと「Strum Speed」の関係

4.4.1.2 Strum Velocity

「Strum Velocity」のつまみ(ノブ)はストロークに伴うベロシティの減衰を設定します。

「Strum Velocity」の値が小さくなるほどストロークに伴うベロシティの減衰が小さく、つまみの値が大きくなるほどベロシティの減衰が大きくなります。



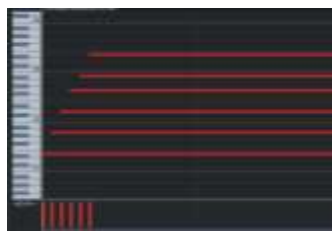
Strum Velocity	最小値のとき	最大値のとき
ギター ストロークキー		
ベロシティが 127 のとき		

図 17 「ギターストローク/ピッキングキー」のベロシティと「Strum Speed」の関係

4.4.1.3 除外 MIDI ノート

「除外 MIDI ノート」は、音源側のキースイッチを利用するため、MIDI ノートをそのまま音源に送信するための設定です。MIDI ノート番号を「 , 」(カンマ)で区切って入力してください。

例えば、HALion Sonic SE の Smoking Solo Strat では「C0・E0・A0・A#0・B・C1・C#1」※にキースイッチが割り当てられていますので、HALion Sonic SE のキースイッチを使用するためには、「除外 MIDI ノート」に「12,16,21,22,23,24,25」と MIDI ノート番号を入力します。

※YAMAHA 社の MIDI ノート表記は「中央のド=C3」となっている点にご注意ください。(本 VST プラグインは「中央のド=C4」で表記しています。)



図 18 ギターストロークのペロシティと Strum Speed の関係

4.4.2 操作画面（コード設定）

ここでは操作画面下部の「コード設定」について説明します。

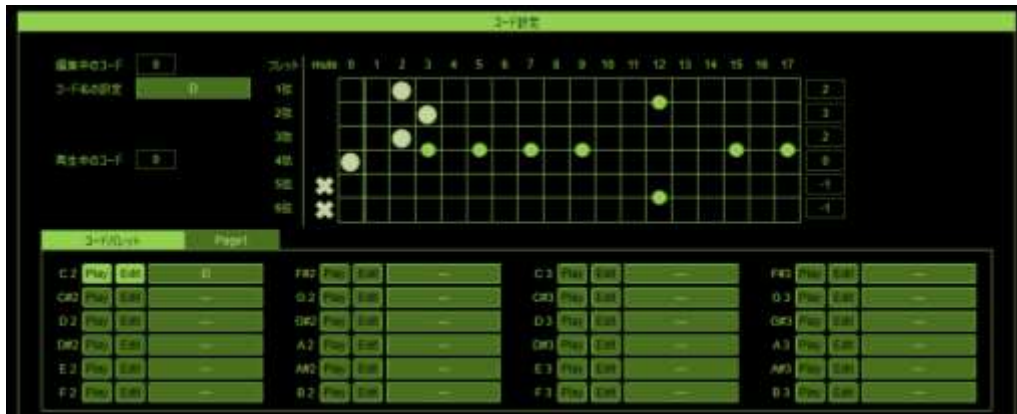


図 19 操作画面 コード設定部

4.4.2.1 ギターフレット

「ギターフレット」では、「コードパレット」に登録する「コード」の表示・編集できます。

「ギターフレット」の左側が編集コードの情報で、右側が「コード」を設定するための「ギターフレット入力」になります。

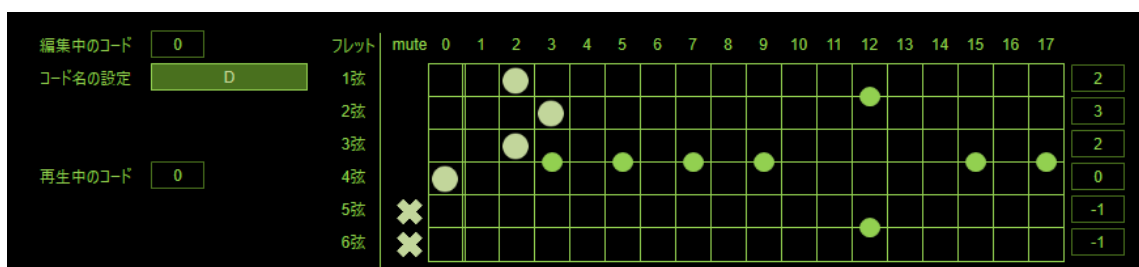


図 20 ギターフレット

「ギターフレット」左側の編集コードの情報では、「編集コード」「コード名の設定」「再生中のコード」が表示されています。

それぞれの表示内容・入力については下記の表の通りとなります

表 5 コード情報部の表示内容と入力

編集中的コード	現在編集中的コードの番号です。 「コードパレット」で「Edit」ボタンが押されている「コード」です。
コード名の設定	編集中的コードに名前を設定することができます。 コード名は「コードパレット」にも表示されます。
再生中のコード	「ギターストローク/ピッキングキー」を打ち込んだ際にストロークされるコードの番号です。 「コードパレット」で「Play」ボタンが押されている「コード」になります。

「ギターフレット」の右側は、「コード」を設定するための「ギターフレット入力」になります。

「ギターフレット入力」では、ギターコード表などをもとにしてギターコードで押さえるフレットを入力します。ギターコード表と異なる点として、開放弦の場合は 0 フレットの列を選択し、弾かない弦は mute の列を選択します。

例えば、登録する「コード」が D コードであれば「ギターフレット入力」を下記のように登録します。ギターコード表は書籍や Web で検索するなどして探すことができます。

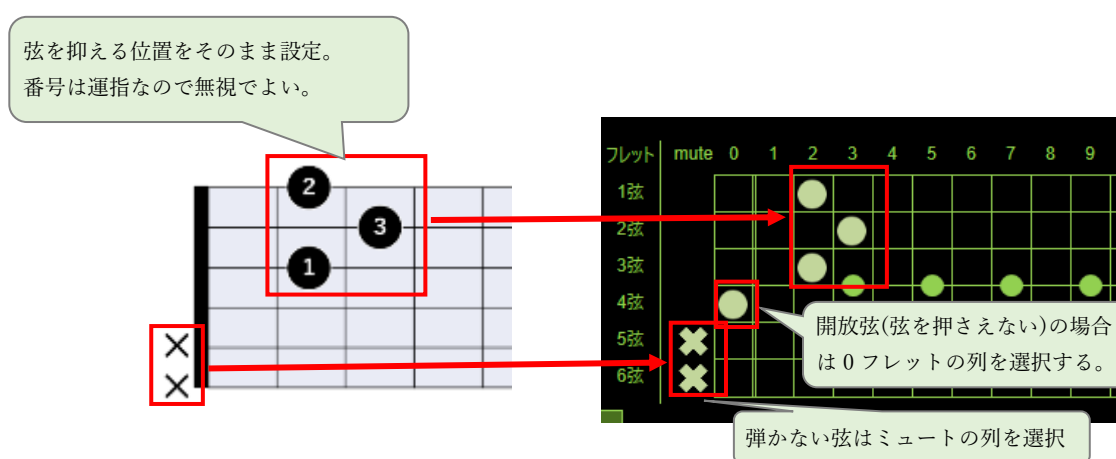


図 21 「コード」の設定例(D コード)

4.4.2.2 コードパレット

「コードパレット」には登録されている「コード」の一覧が表示されています。



図 22 コードパレット

「コードパレット」は4ページあり、ページを切り替えることで最大96個までの「コード」を登録することができます。ページの切替は「コードパレット」のタイトル文字の横にあります。

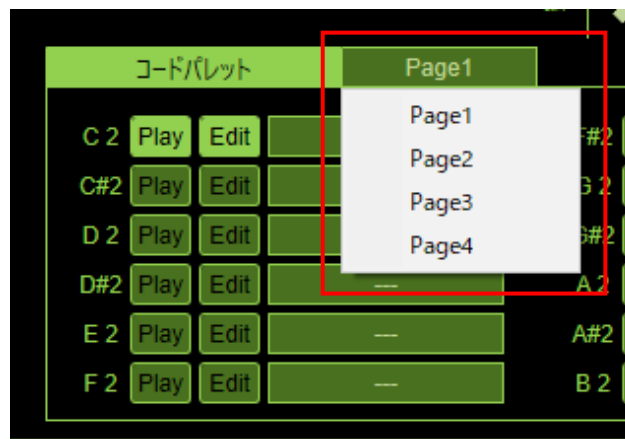


図 23 「コードパレット」のページ選択

「コードパレット」のコードには、対応する「コード切替キー」「Play」ボタン「Edit」ボタン「コード名」が表示されます。

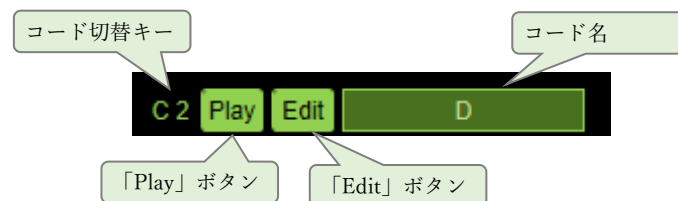


図 24 「コードパレット」内の「コード」

表 6 コードの表示内容

コード切替キー	このコードに対応する「コード切替キー」です。
Play	再生中のコードかどうかを示します。 このボタンが On の場合、「ギターストローク/ピッキングキー」を打ち込んだ際にストロークされるコードとなります
Edit	編集中のコードかどうかを示します。 このボタンが On の場合、「ギターフレット」で表示・編集するコードとなります。
コード名	このコードの名前です。

4.4.3 キースイッチ

ここでは割り当てられているキースイッチについて説明します。

キースイッチの種類には大きく 3 つあり、それぞれ「ページ切替キー」「コード切替キー」「ギターストローク/ピッキングキー」となります。

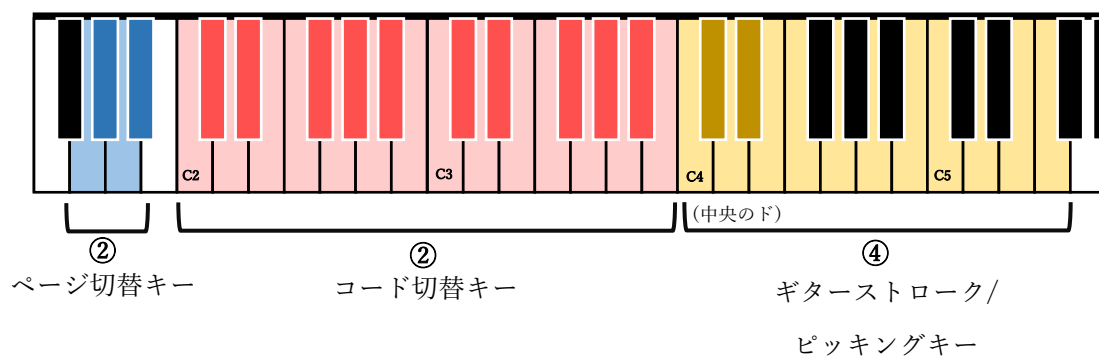


図 25 Utsbox MIDI Tool2 キースイッチ設定

表 7 コードの表示内容

キースイッチ	割り当て範囲
ページ切替キー	G1～A#2
コード切替キー	C2～B3
ギターストローク/ピッキングキー	C4～F5（一部割り当てのないキーがある）

4.4.3.1 ページ切替キー

「ページ切替キー」はコードパレットのページを切り替えます。MIDI ノート番号とページの対応は下記の通りです。

表 8 「ページ切替キー」の割り当て

キー	コードパレットのページ
G1	ページ 1 への切り替え
G#1	ページ 2 への切り替え
A1	ページ 3 への切り替え
A#1	ページ 4 への切り替え

4.4.3.2 コード切替キー

「コード切替キー」はコードパレットのコードを切り替えます。C2 ～ B3 に割り当てられており、コードパレットの各コードに対応します。

どの MIDI ノート番号がどの「コード」に該当するかは操作多面の「コードパレット」に記載されているとおりです。



図 26 「コードパレット」と対応する「コード切替キー」

4.4.3.3 ギターストローク/ピッキングキー

「ギターストローク/ピッキングキー」には下記の動作が割り当てられています。

表 9 「ギターストローク/ピッキングキー」の割り当て

キー	割り当て動作	キー	割り当て動作
C5	ダウンストローク	A5	3 弦ピッキング
C#5	ダウンストローク(3 弦のみ)	B5	2 弦ピッキング
D5	アップストローク	C6	1 弦ピッキング
D#5	アップストローク(3 弦のみ)	D6	ダウンブラッシング
E5	6 弦ピッキング	E6	アップブラッシング
F5	5 弦ピッキング	F6	全ての音の停止
G5	4 弦ピッキング		

E5 ～ C6 の各弦のピッキング時、選択したコードで該当の弦がミュート状態の場合、より高音弦が選ばれピッキングされます。

例えば 6 弦がミュート状態のコードを選択し、E5(6 弦ピッキング)を押した場合、5 弦がピッキングされます。

5 その他

5.1 免責事項

本 VST3 プラグインを使用したことによって生じたすべての障害・損害・不具合等に関しては、私と私の関係者および私の所属するいかなる団体・組織とも、一切の責任を負いません。各自の責任においてご使用ください。また、不具合の修正・要望の実装についての義務も負いません。

5.2 著作権について

本ソフトウェアの著作権は、作者である うつぼかずら が保有します。

個人による頒布や複製はファイルに変更を加えない限り自由です。頒布・複製時にご連絡をいただく必要はありません。

Web サイトや雑誌等による頒布や転載、商業的目的の場合は事前にご連絡ください。内容によっては拒否させていただくことがございます。

5.3 連絡先

頒布・複製時や不具合・要望等の連絡先は下記になります。

Web サイト … <https://vstcpp.wpblog.jp/>

Twitter アカウント … @vstcpp (<https://twitter.com/vstcpp>)

なお、不具合・要望については匿名でもご連絡いただけます。

マシュマロ(匿名連絡) … <https://marshmallow-qa.com/vstcpp>

6 更新履歴

2020/ 6/28 Version 1.0

新規作成。